

---

# イチゴミルクと永遠の愛

昴

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

イチゴミルクと永遠の愛

### 【NZコード】

NZ8697A

### 【作者名】

昴

### 【あらすじ】

彼はオレ様。しかも超キザ。そして、軽い男。そんな彼と付き合っている私の運命は

×1 キザな男

「俺と、してみない？」

「イチゴミルクより、甘い恋」

領いたその日から、私と彼の恋は始まった

私は、付き合いつことにした。

こんな最悪な彼だけが、

そして、軽い男。

しかも超キザ。

彼はオレ様。

「おひ

「侑登。帰る?」

だって、付き合った経験なかつたし・・・

そんな簡単な理由で。

「静羽、今日どつか行く??誕生日だろ?」

「誕生日、覚えててくれたんだ」

「あたりめえだろ」

「ありがと。じゃあ、図書館に行きたいな」

「またあ???

「あそこが好きなの

いつもテー<sup>ト</sup>は図書館か公園。

侑登は遊園地とか、そういうところが行きたいみたいだけど、

私はここが好き。だって、勉強大好きだから。

「なあ、じこひでじうすんの？？」

「三角形の面積の公式・・・」

「は？なんだそれ」

「だあかあらあ・・・。小学生レベルだよ？倅登」

「・・・下×縦÷2？」

「・・・別に間違っちゃいないけど・・・底辺×高さ÷2だよ」

「いいじゃん。俺のやり方だし」

少し呆れながらも勉強を教えていくと、

一人の青年が声をかけてきた。

「鷹凧さん？？」

「橘くん」

顔が、一瞬で赤くなつた。

橘くん・・・。やつぱり、カッコイイ・・・。

橘くんは女子の憧れの的。優しいし、カッコイイ。それに、秀才だから。

「勉強??」

「うん。橘くんは??」

「僕も勉強」

優しい微笑みを浮かべながら、ついに、うつとりしながら耳を傾ける。

そんな彼女を見て、侑登は眉間にしわを寄せている。

「じゅあ橋くんも一緒にじつへ別れ、席開いてゐる」

「え、でも・・・彼、このみ?」

「いいよ、ただの勉強だし。いこよね、侑登?」

「勝手にじる」

「誰だ?」

「なんで静羽がこんな顔をしてる??

好きなのか ??

確かに、俺たちは試しの付き合つだけじゃ

「橋くん、いい、どうするか分かる??.」

「ああ、やっぱね、いつまつて??.」

気に食わなかつた。

「これが、 静刃によく思われているところだが。

## × 1 キザな男（後書き）

これからも、頑張って書いていくつもりなので、よろしくお願ひします！！

ネット小説ランディングに投票 よろしくですっ (月一回)

<http://nnr2.netnovel.org/rank03/ranklink.cgi?id=ririri>

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n8697a/>

---

イチゴミルクと永遠の愛

2010年12月19日02時43分発行